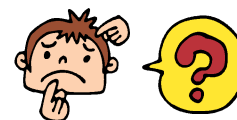


幼小中一貫校づくりに関するQ&A②

平成27年7月25日発行

平成28年4月の福部地域幼小中一貫校「福部未来学園」の開校に向け、新たな教育システムを構築し、子どもたちのよりよい学びや成長を支援していこうと、現在推進委員会を中心に話し合いを進めています。幼小中一貫校の取組を通して、長期的な展望に立った福部地域の「人づくり、地域づくり」を推進していきたいと考えています。また、福部地域の幼小中一貫校、家庭、地域が協働することにより、地域の総合的な教育力の活性化を図り、地域社会のより一層の進展をめざそうとしています。

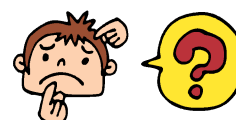


Q1 今までの「幼小中『連携』」と
これからの「幼小中『一貫教育』」ってどこが違うの？

A1 「幼小中連携」…幼稚園・小学校・中学校が互いに情報交換、交流することを通じ、幼稚園教育から小学校教育、小学校教育から中学校教育への「円滑な接続」をめざす様々な教育のことを言います。

「幼小中一貫教育」…幼小中連携のうち、幼稚園・小学校・中学校が10年間を通じた教育課程（教育計画）を編成し、それにもとづいて行う「系統的・組織的な教育（成長の段階に応じて続き、つながっていく教育）」のことを言います。

Q2 「幼小中一貫校」のビジョン図にある
「ブロック」って何？



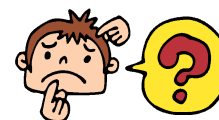
A2 10年間のつながりを大切にした「幼小中一貫教育」を行う際の「学年等のまとまり」やその「区切り」のことを「ブロック」と表現しています。※裏面に「ビジョン図」を掲載しています。

現在ですと、幼稚園は5歳児1年間、小学校は1年生から6年生の6年間、中学校は1年生から3年生までの3年間といった、いわゆる小中の「6・3制」に幼稚園の1年間が加わった「1・6・3制」で教育を行っています。各学年ごとに学級があり、学級担任がいます。

福部地域が考えている「幼小中一貫教育」では、子どもたちの発達段階に応じた発想で、現在の「1・6・3制」ととられず、別の区切りを意図的に設けることにしました。幼稚園・小学校・中学校間の「溝（小1プロブレム）」や「段差（中1ギャップ）」を解消するために「橋」や「階段」をかけることで、子どもたちの発達段階に応じた学

習活動を展開していくことができるのです。もちろん、各学年ごとに学級があり、学級担任がいるという形態は変わりません。

Q3 「幼小中一貫校」の「ブロック」は どのようなになるの？



A3 特別な「ブロック制」の例を、身近なところで紹介します。鳥取市の「湖南学園」では、小中一貫教育を円滑に行うため、初等ブロック（小1年～小4年）、中等ブロック（5～7年：小5年～中1年）、高等ブロック（8，9年：中2年～中3年）の「4・3・2ブロック制」で教育を行っています。

福部地域では、幼小中一貫校推進委員会の「教育課程部会」や幼小中の教職員による話し合いを経て、次の「3・3・4ブロック制」で、それぞれの成長過程に合わせた特色ある指導や活動を実施していこうと決めました。

【福部未来学園（幼小中一貫教育実施校）】

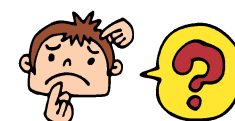
- I 期（5歳児～小2年）・・・「学びと遊びの融合」期
- II 期（小3年～小5年）・・・「学びの確立・定着」期
- III 期（小6年～中3年）・・・「学びの深化・発展」期



福部地域の特色は、「新たな教育システム」として、幼稚園（5歳児）を意図的に組み入れたところにあります。全国的に見ても数少ない取組です。

5歳児から小学2年生までの「I期」では、「遊び」を中心とした幼稚園の教育と、時間割に基づく「教科」等の学習を中心とした小学校教育との円滑な接続を図るために、創意工夫を生かした連携を大切にしたいと考えています。幼稚園と小学校の、「生活の接続」と「遊びと学びの接続」を滑らかに行うために、幼稚園では、「これからの育ちや学びを見通して」、小学校では「これまでの育ちや遊び・学びを踏まえて」取組を考えていきます。幼小の接続を単に「小1プロブレム」の対策だけで考えるのではなく、幼児期から児童期への成長と学びの連続性という視点を大切にし、お互いに高め合うことができる連携を行うことが大切だと考えています。

Q4 「ブロック」制のポイントは何？



A4 「ブロック制」を取り入れる上で、「学習のつながり」「仲間とのつながり」「教職員のつながり」「地域とのつながり」そして、「未来とのつながり」の5つのポイントを大切にしたいと考えています。

現在、学習内容や学校行事などについて、幼小中の教職員が協力しながら、以下の点について話し合いを進めています。

- 10年間のスパンで連続した学習や活動を組み立てていく。
- 異年齢集団活動を大切にしたい特色ある活動や行事を各ブロックで創造していく。
- 福部地域の幼小中一貫教育校における10年間の一貫した「教育目標」を具現化するため、各ブロックの発達段階の実態をふまえた教育課程を編成する。
- 幼小中10年間を通じて行う、「福部ならではの」特色ある教育内容を創造していく。

文責：幼小中一貫校推進委員会啓発部会 長石 彰(福部中学校教頭)

